

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公開番号】特開 2006-295897 (P2006-295897A)
 【公開日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-042
 【出願番号】特願 2006-32641 (P2006-32641)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 3/56 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

H 0 4 Q 7/26 (2006.01)

H 0 4 M 3/42 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/56 Z

H 0 4 B 7/26 1 0 9 Q

H 0 4 B 7/26 1 1 0 B

H 0 4 M 3/42 T

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 11 月 20 日 (2007.11.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行うための P o C 通信サーバ装置であって、前記 P o C グループセッションの招待時に、被招待者の端末装置に対応するアドレスを、被招待者の端末装置に通知する手段を含むことを特徴とする P o C 通信サーバ装置。

【請求項 2】

端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行うための P o C 通信サーバ装置であって、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを、前記 P o C グループに含まれる他の端末装置に対して通知するか非通知にするかの設定を制御する手段を含むことを特徴とする P o C 通信サーバ装置。

【請求項 3】

端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行うための P o C 通信サーバ装置であって、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスについて非通知にするための非通知指令を取得する非通知指令取得手段と、前記非通知指令取得手段が取得した前記非通知指令に係るユーザアドレスを前記 P o C グループに含まれる他の端末装置に対して非通知に設定するための非通知設定指令を該他の端末装置に送信する非通知設定手段とを含むことを特徴とする P o C 通信サーバ装置。

【請求項 4】

前記 P o C グループに含まれる端末装置それぞれのユーザアドレスが非通知に設定されているかどうかを示す非通知設定情報が複数の装置に跨って管理されている場合、前記非通知指令取得手段は、他の装置から前記非通知設定情報を含む前記非通知指令を取得することを特徴とする請求項 3 記載の P o C 通信サーバ装置。

【請求項 5】

前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスを非通知に設定する可否を示す識別子とを含むことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の P o C 通信サーバ装置。

【請求項 6】

前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスの代わりに、各端末装置の表示画面に表示すべき内容を示す D I S P L A Y N A M E 情報とを含むことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の P o C 通信サーバ装置。

【請求項 7】

前記非通知設定指令は、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを含まず、非通知設定に設定されている端末の数を示す情報を含むことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の P o C 通信サーバ装置。

【請求項 8】

前記非通知指令取得手段は、前記非通知設定指令を、
非通知に設定することを希望する端末装置から前記 P o C グループセッション開始前に

発信側の端末装置から前記 P o C グループセッションの開始の際に、
非通知に設定することを希望する端末装置から前記 P o C グループセッションによる通信中に、

の少なくとも 1 つのタイミングで取得することを特徴とする請求項 3 から請求項 7 までのいずれか 1 項に記載の P o C 通信サーバ装置。

【請求項 9】

他の端末装置と共にグループ通話を実現する P o C グループセッションを行う端末装置であって、自端末のユーザアドレスを、前記 P o C グループに含まれる他の端末装置に対して非通知にする非通知指令を送信する非通知指令送信手段を含むことを特徴とする端末装置。

【請求項 10】

前記非通知指令送信手段は、前記非通知設定指令を、
自装置が非通知に設定することを希望する端末装置である場合に前記 P o C グループセッション開始前に、

自装置が発信側の端末装置である場合に前記 P o C グループセッションの開始の際に、
自装置が非通知に設定することを希望する端末装置である場合に前記 P o C グループセッションによる通信中に、

の少なくとも 1 つのタイミングで送信することを特徴とする請求項 9 記載の端末装置。

【請求項 11】

他の端末装置と共にグループ通話を実現する P o C グループセッションを行う端末装置であって、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスについて非通知にする非通知設定指令を受信した場合、該ユーザアドレスについて非通知である旨を示す内容を自端末に表示する表示制御手段を含むことを特徴とする端末装置。

【請求項 12】

前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスを非通知に設定する可否を示す識別子とを含み、前記表示制御手段は、前記識別子の内容に応じて非通知である旨の表示を行うことを特徴とする請求項 11 記載の端末装置。

【請求項 13】

前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスの代わりに、各端末装置の表示画面に表示すべき内容を示す D I S P L A Y N A M E 情報とを含み、前記表示制御手段は、前記 D I S P L A Y N A M E 情報の内容を表示することを特徴とする請求項 11 記載の端末装置。

【請求項 14】

前記非通知設定指令は、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを含まず、非通知設定に設定されている端末の数を示す情報を含み、前記表示制御手

段は、前記端末の数に応じて非通知である旨の表示を行うことを特徴とする請求項 1 1 記載の端末装置。

【請求項 1 5】

端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行う P o C 通信方法であって、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスについて非通知にするための非通知指令を取得する非通知指令取得ステップと、前記非通知指令取得ステップにおいて取得した前記非通知指令に係るユーザアドレスを前記 P o C グループに含まれる他の端末装置に対して非通知に設定するための非通知設定指令を該他の端末装置に送信する非通知設定ステップとを含むことを特徴とする P o C 通信方法。

【請求項 1 6】

前記 P o C グループに含まれる端末装置それぞれのユーザアドレスが非通知に設定されているかどうかを示す非通知設定情報が複数の装置に跨って管理されている場合、前記非通知指令取得ステップにおいては、それら複数の装置のうちいずれか 1 つの装置が他の装置から前記非通知設定情報を含む前記非通知指令を取得することを特徴とする請求項 1 5 記載の P o C 通信方法。

【請求項 1 7】

前記非通知設定指令は、前記 P o C グループセッションの開始前に、非通知に設定することを希望する端末装置から送信されることを特徴とする請求項 1 5 記載の P o C 通信方法。

【請求項 1 8】

前記非通知設定指令は、前記 P o C グループセッションの開始の際に、発信者側の端末装置から送信されることを特徴とする請求項 1 5 記載の P o C 通信方法。

【請求項 1 9】

前記非通知設定指令は、前記 P o C グループセッションによる通信中に、端末装置から送信されることを特徴とする請求項 1 5 記載の P o C 通信方法。

【請求項 2 0】

前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスを非通知に設定するかどうかを示す識別子とを含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 9 までのいずれか 1 項に記載の P o C 通信方法。

【請求項 2 1】

前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスの代わりに、各端末装置の表示画面に表示すべき内容を示す D I S P L A Y N A M E 情報とを含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 9 までのいずれか 1 項に記載の P o C 通信方法。

【請求項 2 2】

前記非通知設定指令は、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを含まず、非通知設定に設定されている端末の数を示す情報を含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 9 までのいずれか 1 項に記載の P o C 通信方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の請求項 1 による P o C 通信サーバ装置は、端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行うための P o C 通信サーバ装置であって、前記 P o C グループセッションの招待時に、被招待者の端末装置に対応するアドレスを、被招待者の端末装置に通知する手段を含むことを特徴とする。

本発明の請求項 2 による P o C 通信サーバ装置は、端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行うための P o C 通信サーバ装置であって、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを、前記 P o C グループに含まれ

る他の端末装置に対して通知するか非通知にするかの設定を制御する手段を含むことを特徴とする。

本発明の請求項3によるP o C通信サーバ装置は、端末装置によるグループ通話を実現するP o Cグループセッションを行うためのP o C通信サーバ装置であって、前記P o Cグループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスについて非通知にするための非通知指令を取得する非通知指令取得手段と、前記非通知指令取得手段が取得した前記非通知指令に係るユーザアドレスを前記P o Cグループに含まれる他の端末装置に対して非通知に設定するための非通知設定指令を該他の端末装置に送信する非通知設定手段とを含むことを特徴とする。このような構成によれば、グループメンバー全員、又は、グループの一部のユーザアドレスを、グループメンバー全員から隠す（非通知にする）ことができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の請求項4によるP o C通信サーバ装置は、請求項3において、前記P o Cグループに含まれる端末装置それぞれのユーザアドレスが非通知に設定されているかどうかを示す非通知設定情報が複数の装置に跨って管理されている場合、前記非通知指令取得手段は、他の装置から前記非通知設定情報を含む前記非通知指令を取得することを特徴とする。非通知設定情報が複数のP o C通信サーバ装置に跨って管理されている場合、それら装置のうちの1つが他の装置から非通知設定情報を取得し、それを端末装置に送信すれば、通信サービス事業者が異なる端末装置との間でグループ通話を実現する場合でも非通知処理を実現できる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の請求項5によるP o C通信サーバ装置は、請求項3又は4において、前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスを非通知に設定するか否かを示す識別子とを含むことを特徴とする。ユーザアドレスと共に、それを非通知に設定するか否かを示す識別子を送信することにより、ユーザアドレスについて非通知である旨を示す内容を端末装置において表示させることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の請求項6によるP o C通信サーバ装置は、請求項3又は4において、前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスの代わりに、各端末装置の表示画面に表示すべき内容を示すDISPLAYNAME情報とを含むことを特徴とする。ユーザアドレスを表示する代わりに表示すべき内容を送信することにより、端末装置においてはその内容を単に表示させればよい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の請求項7によるP o C通信サーバ装置は、請求項3又は4において、前記非通知設定指令は、前記P o Cグループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを含まず、非通知設定に設定されている端末の数を示す情報を含むことを特徴とする。通知対象ユーザについてはユーザアドレスを送信するのに対し、非通知対象ユーザについてはユーザアドレス自体を送信しないので、無線区間のネットワークリソースを有効活用することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の請求項8によるP o C通信サーバ装置は、請求項3から請求項7までのいずれか1項において、

前記非通知指令取得手段は、前記非通知設定指令を、

非通知に設定することを希望する端末装置から前記P o Cグループセッション開始前に

発信側の端末装置から前記P o Cグループセッションの開始の際に、

非通知に設定することを希望する端末装置から前記P o Cグループセッションによる通信中に、

の少なくとも1つのタイミングで取得することを特徴とする。

本発明の請求項9による端末装置は、他の端末装置と共にグループ通話を実現するP o Cグループセッションを行う端末装置であって、自端末のユーザアドレスを、前記P o Cグループに含まれる他の端末装置に対して非通知にする非通知指令を送信する非通知指令送信手段を含むことを特徴とする。このような構成によれば、グループメンバー全員、又は、グループの一部のユーザアドレスを、グループメンバー全員から隠す（非通知にする）ことができる。

本発明の請求項10による端末装置は、請求項9において、

前記非通知指令送信手段は、前記非通知設定指令を、

自装置が非通知に設定することを希望する端末装置である場合に前記P o Cグループセッション開始前に、

自装置が発信側の端末装置である場合に前記P o Cグループセッションの開始の際に、

自装置が非通知に設定することを希望する端末装置である場合に前記P o Cグループセッションによる通信中に、

の少なくとも1つのタイミングで送信することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の請求項11による端末装置は、他の端末装置と共にグループ通話を実現するP o Cグループセッションを行う端末装置であって、前記P o Cグループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスについて非通知にする非通知設定指令を受信した場合、該ユーザアドレスについて非通知である旨を示す内容を自端末に表示する表示制御手段を含むことを特徴とする。このような構成によれば、グループメンバー全員、又は、グループの一部のユーザアドレスを、グループメンバー全員から隠す（非通知にする）ことができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の請求項 1 2 による端末装置は、請求項 1 1 において、前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスを非通知に設定するか否かを示す識別子とを含み、前記表示制御手段は、前記識別子の内容に応じて非通知である旨の表示を行うことを特徴とする。ユーザアドレスと共に、それを非通知に設定するか否かを示す識別子を送信することにより、ユーザアドレスについて非通知である旨を示す内容を端末装置において表示させることができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の請求項 1 3 による端末装置は、請求項 1 1 において、前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスの代わりに、各端末装置の表示画面に表示すべき内容を示す DISPLAYNAME 情報とを含み、前記表示制御手段は、前記 DISPLAYNAME 情報の内容を表示することとを特徴とする。ユーザアドレスを表示する代わりに表示すべき内容を送信することにより、端末装置においてはその内容を単に表示させればよい。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の請求項 1 4 による端末装置は、請求項 1 1 において、前記非通知設定指令は、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを含まず、非通知設定に設定されている端末の数を示す情報を含み、前記表示制御手段は、前記端末の数に応じて非通知である旨の表示を行うことを特徴とする。通知対象ユーザについてはユーザアドレスを送信するのに対し、非通知対象ユーザについてはユーザアドレス自体を送信しないので、ネットワークリソースの浪費を防止することができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の請求項 1 5 による P o C 通信方法は、端末装置によるグループ通話を実現する P o C グループセッションを行う P o C 通信方法であって、前記 P o C グループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスについて非通知にするための非通知指令を取得する非通知指令取得ステップ（例えば、図 8 中のステップ S 2 2 に対応）と、前記非通知指令取得ステップにおいて取得した前記非通知指令に係るユーザアドレスを前記 P o C グループに含まれる他の端末装置に対して非通知に設定するための非通知設定指令を該他の端末装置に送信する非通知設定ステップ（例えば、図 8 中のステップ S 2 7 に対応）とを含むことを特徴とする。このような構成によれば、グループメンバー全員、又は、グループの

一部のユーザアドレスを、グループメンバー全員から隠す（非通知にする）ことができる。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の請求項 16 による P o C 通信方法は、請求項 15 において、前記 P o C グループに含まれる端末装置それぞれのユーザアドレスが非通知に設定されているかどうかを示す非通知設定情報が複数の装置に跨って管理されている場合、前記非通知指令取得ステップにおいては、それら複数の装置のうちいずれか 1 つの装置が他の装置から前記非通知設定情報を含む前記非通知指令を取得する（例えば、図 24 中のステップ S 61 ~ S 63 に対応）ことを特徴とする。非通知設定情報が複数の P o C 通信サーバ装置に跨って管理されている場合、それら装置のうちの 1 つが他の装置から非通知設定情報を取得し、それを端末装置に送信すれば、通信サービス事業者が異なる端末装置との間でグループ通話を実現する場合でも非通知処理を実現できる。

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の請求項 17 による P o C 通信方法は、請求項 15 において、前記非通知設定指令は、前記 P o C グループセッションの開始前に、非通知に設定することを希望する端末装置から送信されることを特徴とする。このような構成によれば、P o C グループセッションの開始前に、着信側となる端末装置から非通知に設定できる。

本発明の請求項 18 による P o C 通信方法は、請求項 15 において、前記非通知設定指令は、前記 P o C グループセッションの開始の際に、発信者側の端末装置から送信されることを特徴とする。このような構成によれば、P o C グループセッションの開始時にグループ内の任意のユーザアドレスについて非通知に設定できる。

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明の請求項 19 による P o C 通信方法は、請求項 15 において、前記非通知設定指令は、前記 P o C グループセッションによる通信中に、端末装置から送信されることを特徴とする。このような構成によれば、P o C グループセッションの開始時において通知していたユーザアドレスを、その後に非通知に設定変更できる。

本発明の請求項 20 による P o C 通信方法は、請求項 15 から請求項 19 までのいずれか 1 項において、前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスを非通知に設定するか否かを示す識別子とを含むことを特徴とする。ユーザアドレスと共に、それを非通知に設定するか否かを示す識別子を送信することにより、ユーザアドレスについて非通知である旨を示す内容を端末装置において表示させることができる。

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の請求項21によるP o C通信方法は、請求項15から請求項19までのいずれか1項において、前記非通知設定指令は、ユーザアドレスと、前記ユーザアドレスの代わりに、各端末装置の表示画面に表示すべき内容を示すDISPLAYNAME情報とを含むことを特徴とする。ユーザアドレスを表示する代わりに表示すべき内容を送信することにより、端末装置においてはその内容を単に表示させればよい。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明の請求項22によるP o C通信方法は、請求項15から請求項19までのいずれか1項において、前記非通知設定指令は、前記P o Cグループに含まれる端末装置に対応するユーザアドレスを含まず、非通知設定に設定されている端末の数を示す情報を含むことを特徴とする。通知対象ユーザについてはユーザアドレスを送信するのに対し、非通知対象ユーザについてはユーザアドレス自体を送信しないので、ネットワークリソースの浪費を防止することができる。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

この時、非通知対象ユーザとして選択されていない着信者においては、P o Cセッション開始要求を受信する前に自身のユーザアドレスを非通知にする設定をしていれば、P o C端末装置あるいはP o C通信サービス制御装置にて非通知処理を実施する。なお、P o Cセッションが確立された後でも、各ユーザは自身のユーザアドレスを非通知設定することができ、ユーザの意思に従った非通知サービスが提供できる。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

図1(a)は各P o C端末装置において非通知処理を行う場合の構成を示すブロック図である。同図において、P o C端末装置11はP o Cセッション開始要求(非通知設定情報)を送信する発信者の使用する端末装置であり、図示せぬCPU、記憶部、通信部、表示部、音声入出力部などを含む移動端末としての機能を有している。また、P o C通信サービス制御装置10は、P o C通信を実現する処理を行う装置であり、図示せぬCPU、記憶部、通信部などを含むP o C通信サーバとしての機能を有している。P o C端末装置12及び13は、着信者の使用する端末装置であり、P o C端末装置11と共に、P o Cグループセッションを行う。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

(ケース 2)

図 1 3 及び図 1 4 は、非通知処理を P o C 通信サービス制御装置で実施した場合の一例を示すフローシケンスである。

図 1 3 は、P o C セッション要求が送出される前にユーザ B が自端末のアドレス非通知要求し、P o C セッションが確立されるまでのフローである。同図において、P o C 端末装置 1 2 の着信側であるユーザ B が自端末のアドレスについて非通知設定を要求すると (S 2 0 1)、P o C 通信サービス制御装置 1 0 において、ユーザ B のアドレスは非通知に設定されたことを記憶する (S 2 0 2)。以上のように、自端末のアドレス非通知設定要求は、P o C セッション確立状態に関わらず、任意のタイミングで送出することができる。ただし、P o C セッションが確立されるまでは、自端末アドレスの非通知設定は有効化されない。

【 手続補正 2 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 5 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 5 3 】

(具体的な動作例)

非通知処理を P o C 端末装置で実施した場合の具体的な動作例について、図 1 5 を参照して説明する。なお、同図中の実線は、P o C 通信トラヒックを示している。

同図 (a) において、P o C セッションが確立する以前に、ユーザ B が自身のユーザアドレス (S I P U R I) を非通知に設定すると、自アドレス非通知設定要求が P o C 通信サービス制御装置 1 0 に送信される (S 5 0 1)。すると、P o C 通信サービス制御装置 1 0 では、ユーザ B は非通知設定にしていることを記憶しておく。

【 手続補正 2 2 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 5 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 5 9 】

(複数の P o C 通信サービス制御装置)

ところで、P o C 通信サービス制御装置が複数存在し、それら複数の P o C 通信サービス制御装置で P o C 通信サービスを実現しても良い。その場合、1 つの P o C 通信サービス制御装置が拠点となり、拠点となる P o C 通信サービス制御装置に非通知設定情報を取りまとめて I N V I T E を送信する。ここで、発信者と着信者とは、それぞれ別の通信サービス事業者と契約している場合を考える。この場合、発信者、着信者それぞれの P o C 端末装置は、契約している通信サービス事業者の P o C 通信サービス制御装置と通信を行うことができ、契約していない通信サービス事業者の P o C 通信サービス制御装置とは契約している通信サービス事業者の P o C 通信サービス制御装置を経由して通信を行うことができる。

【 手続補正 2 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 6 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 6 2 】

以上のような場合において、発信者の P o C 端末装置 1 1 から、P o C 端末装置 1 2 及び P o C 端末装置 1 3 を着信側として P o C セッション開始要求が発信されると、1 つの (本例では、発側の) P o C 通信サービス制御装置 1 0 が拠点となり、その他の (本例では、着側の) P o C 通信サービス制御装置 1 1 0、1 2 0 がそれぞれ保持している非通知

設定情報を、拠点となる P o C 通信サービス制御装置 1 0 が取得する。1 つの P o C 通信サービス制御装置が拠点となり、それぞれの P o C 通信サービス制御装置に保持されている非通知情報を取りまとめることで、発信者の設定した非通知情報、および、自端末装置のアドレス非通知有無に応じた非通知情報を反映した P o C セッション開始要求を、拠点となる P o C 通信サービス制御装置からその他の P o C 通信サービス制御装置を経由して各々の着信側端末装置に対して送信することができる。

要するに、非通知設定情報が複数の P o C 通信サービス制御装置に跨って管理されている場合、それら装置のうちの 1 つが他の装置から非通知設定情報を取得し、それを端末装置に送信すれば、通信サービス事業者が異なる端末装置との間でグループ通話を実現する場合でも非通知処理を実現できる。

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

図 1 8 及び図 1 9 は、上述したケース 1 で、非通知設定情報が複数の P o C 通信サービス制御装置に跨って管理されている場合の非通知処理の一例を示すフローシケンスであり、P o C セッション要求が送出される前にユーザ B が自端末のアドレス非通知要求し、P o C セッションが確立されるまでのフローである。図 1 8 において、P o C 端末装置 1 2 の着信側であるユーザ B が自端末のアドレスについて非通知設定を要求すると (S 3 0 1)、P o C 通信サービス制御装置 1 1 0 において、ユーザ B のアドレスは非通知に設定されたことを記憶する (S 3 0 2)。このように、自端末のアドレス非通知設定要求は、P o C セッション確立状態に関わらず、任意のタイミングで送出することができる。ただし、P o C セッションが確立されるまでは、自端末アドレスの非通知設定は有効化されない。

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 7】

P o C 端末装置 1 2、P o C 端末装置 1 3 からの P o C セッション開始応答を受信した P o C 通信サービス制御装置 1 0 は、P o C セッション開始応答を P o C 端末装置 1 1 に送信する (S 3 2 2)。これにより、P o C 端末装置 1 1 では、ユーザ A 及びユーザ B のユーザアドレスについて、非通知処理が行われる (S 3 2 3)。なお、P o C 端末装置 1 3 のユーザアドレス (ユーザ C) については、非通知に設定されていないので、非通知処理は行われない。その後、P o C 端末装置 1 1 ~ 1 3 は、P o C 通信中となる (S 3 2 4)。

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

P o C 端末装置 1 2、P o C 端末装置 1 3 からの P o C セッション開始応答を受信した P o C 通信サービス制御装置 1 0 は、P o C セッション開始応答を P o C 端末装置 1 1 に送信する (S 4 2 2)。これにより、P o C 端末装置 1 1 では、ユーザ A 及びユーザ B のユーザアドレスについて、非通知処理が行われる (S 4 2 3)。なお、P o C 端末装置 1 3 のユーザアドレス (ユーザ C) については、非通知に設定されていないので、非通知処

理は行われない。その後、P o C 端末装置 1 1 ~ 1 3 は、P o C 通信中となる (S 4 2 4)。

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 4】

また、図 2 3 は、上記図 2 0 及び図 2 1 の場合における各 P o C セッション着信者の端末装置の動作例を示すフローチャートである。同図において、P o C セッション発信者側の端末から P o C セッション開始要求を受信すると (ステップ S 4 8)、その要求に含まれている非通知情報の内容及び非通知対象ユーザの数の値を確認する (ステップ S 4 9)。この確認の結果、非通知が設定されていれば、受信した非通知設定端末数に応じて非通知設定処理を実行する (ステップ S 5 0 S 5 1)。これにより、非通知対象ユーザのアドレスを“非通知”表示とする (ステップ S 5 2)。

着信者の端末装置における非通知表示が完了したら、P o C セッション開始応答を P o C 通信サービス制御装置へ送出する (ステップ S 5 3)。

なお、ステップ S 4 9 の確認の結果、非通知が設定されていなければ、そのまま P o C セッション開始応答を送出する (ステップ S 5 0 S 5 3)。

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

図 2 4 は、上記図 2 0 及び図 2 1 の場合における P o C セッションの開始要求 / 応答の送受信時における P o C 通信サービス制御装置の非通知設定動作例を示すフローチャートである。同図において、非通知設定条件付きの P o C セッション開始要求を受信すると (ステップ S 6 1)、グループ通話のメンバーとして指定されている P o C 端末装置のユーザアドレスについての非通知設定情報が複数の P o C 通信サービス制御装置に跨って管理されているか判断する (ステップ S 6 2)。複数の P o C 通信サービス制御装置に跨って管理されている場合には、他の P o C 通信サービス制御装置に非通知設定情報要求を送信し、P o C 端末装置のユーザアドレスについての非通知設定情報を確認して、非通知設定情報を含む非通知指令を取得する (ステップ S 6 3)。非通知設定情報が複数の P o C 通信サービス制御装置に跨って管理されていない場合は、他の P o C 通信サービス制御装置への非通知設定情報要求は送信しない。

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 6】

その後、P o C 通信サービス制御装置は、P o C セッション開始要求及び非通知設定情報要求に対する応答に含まれている非通知条件を記憶する (ステップ S 6 4)。その後、非通知条件の確認及び判定を行う (ステップ S 6 5)。

そして、非通知設定情報を更新する必要がある場合、非通知判定結果に基づき、非通知設定情報を更新した後 (ステップ S 6 6 S 6 7)、非通知設定情報を含んだ P o C セッション開始要求を全着信ユーザへ送出する (ステップ S 6 8)。一方、非通知設定情報を更新する必要がない場合、更新せず、非通知設定情報を含んだ P o C セッション開始要求を全着信ユーザへ送出する (ステップ S 6 6 S 6 8)。

P o C 通信サービス制御装置は、少なくとも一つの P o C セッション開始応答を受信することができれば、着信者へ送出したときと同様の非通知設定情報を P o C セッション開始応答に付加して発信者の端末装置へ送出する（ステップ S 6 9 S 7 0）。なお、着信ユーザからの応答がない場合は、そのまま処理が終了となる。

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 9】

（ 6 ）上記非通知設定指令は、端末装置において画面に表示すべき表示内容を含み、上記非通知設定手段は、上記表示内容を、非通知である旨を示す内容に書き替えることを特徴とする（ 1 ）項から（ 4 ）項までのいずれか 1 項に記載の P o C 通信システム。このような構成によれば、高機能な P o C 通信サービス制御装置を利用し、グループメンバー全員、又は、グループの一部のユーザアドレスを、グループメンバー全員から隠す（非通知にする）ことができる。